

# 2021 年度事業報告書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

認定特定非営利活動法人キドックス

## 1 事業実施の方針

### <プログラムの質と成果の向上 若者編>

- ・若者の特性や適性に合わせた活動参加を実施できるようにプログラム全体の対象区分けからサービス内容の全体見直しを行った。
- ・新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンラインでも相談や業務報告などの対応をできるための体制整備を行った。
- ・子ども若者支援の専門家である中野謙作先生を招いた勉強会を開催し、事例検討を行い職員の資質向上をはかった。
- ・新施設で若者の活躍の場の1つであるカフェ業務をさらに充実させるべく、つくば市のフレンチレストランB6様にコンサルティングをお願いしメニューのレシピ開発を行った。

### <プログラムの質と成果の向上 保護犬編>

- ・コロナ禍でも消毒等の対策を取りつつカフェ営業・譲渡活動を行い、譲渡数は好調となり、昨年同様水準の譲渡数を維持した。
- ・当会のドッグトレーニングスキルを活かし、他団体では扱いが難しい犬の受け入れ等を行った。茨城県動物指導センターや民間保護団体との連携強化にもつながった。
- ・シェルターメディスンの専門家である西山ゆうこ先生を招いた勉強会を定期開催し、シェルターの衛生面や管理面の運用の見直し、新施設の運用計画を行った。

### <収入財源の強化>

- ・自主事業以外の寄付収入を拡大すべく、プロアクティブ様（フード売上の一部を寄付）・どうぶつでんき様（電気料金の一部を寄付）・ナッジ様（クレジットカード売上の一部を寄付）との連携事業や、ハートネーション様による月額寄付会員の方への広報強化などを実施した。
- ・新施設への移転に向けてクラウドファンディングを実施し、目標額を超えるご寄付を達成した。当会の活動の認知拡散にもつながった。

### <職員の人材育成>

- ・各分野の専門家の方（動物福祉、子ども若者支援、システム構築、ファンドレイジング等）にオンライン勉強会を開催していただき、職員の士気とスキル向上をはかった。
- ・オンラインツールの活用により、職員ミーティングやワークショップの機会が充実した。
- ・新施設に向けて採用を強化し、社内研修会やワークショップを多数実施し、職員のスキル向上はもちろん、新施設に向けての具体的計画を職員全体で作り上げる機会となった。
- ・CRファクトリーの呉先生にコンサルティングをお願いし、組織設計・年間計画・コミュニティ作りの全体設計を行った。

### <その他>

- ・新施設への移転に向けて、ボランティアの方の協力のもとHPの大幅リニューアルを実施した。

## 2 事業の成果

主に、以下の事業を実施した。

- 引きこもり・不登校の若者向けの自立支援・就労支援事業の実施
- 指定障害福祉サービス（就労移行支援事業、就労継続支援 B 型事業）の実施
- 保護犬の家庭犬トレーニングや心身のケア、保護犬譲渡促進事業
- 講演活動、啓発活動など

### ■ 若者利用者数・犬頭数

対象	項目	2021 年度の合計	2013 年活動開始時から 2021 年度までの合計
若者	新規相談	45	304
	定期通所	24	67
	進路決定	4	25
犬	保護	14	73
	譲渡	11	61

### ■ 2021 年度の事業別の活動実施回数・利用者数

事業名	活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計 (延人数・頭数)
①引きこもりや不登校の当事者及びその家族への支援事業 /捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	自立支援いぬのいえ	99	14
	新規利用説明会	随時	31
	1 日体験	随時	18
	お手紙会員	5	275
	交流イベント	1	9
	面会相談・保護者相談	随時	26
②障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	就労移行支援事業	258	440
	就労継続支援 B 型事業	258	1986

/捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	キドックスカフェ	159	3231
③ 子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自然体験事業	動物介在活動	今年度は実施なし	—
④捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	犬の保護数	随時	14
	譲渡数	随時	11
⑤捨て犬猫の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	今年度は実施なし	—	—
⑥若者自立支援ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業 / ⑦若者自立支援ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	DP 講演会	2	不特定多数
	取材・見学対応	見学ツアー毎月1回 /その他、毎月随時	34
	啓発イベント/交流会等	1	不特定多数
その他	ボランティア参加	随時	131

### 3 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)

①引きこもりや不登校の当事者及びその家族への支援事業	保護犬の世話やトレーニング、畑作業、造園、木工製作等を通じて、ひきこもりや不登校の若者へ自立支援・就労支援を行った。	(A)週2回 (B)キドックスファーム (C) 1人	(D) ひきこもりや不登校の若者 15歳～39歳 (E)別表に記載	751
②障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	①の事業の引きこもりの若者たちのうち、障害のある方に対して、就労移行支援事業、就労継続支援 B 型事業のサービス提供を行った。	(A)週5回 (B)キドックスファーム・キドックスカフェ (C) 7人	(D) ひきこもりの若者 15歳～39歳 (E)別表に記載	24191
③子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自然体験事業	今年度は実施なし			0
④捨て犬猫の保護や譲渡を促進する事業	保護犬に家庭犬トレーニングとケアを行ったのち、保護犬と出会えるカフェ「キドックスカフェ」にて里親募集を行った。	(A)週7回（カフェは週3回） (B)キドックスファーム・キドックスカフェ (C)7人	(D) 犬をこれから飼いたい全ての世帯 (E) 別表に記載	264
⑤捨て犬猫の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	今年度は実施なし	実施なし	実施なし	0
⑥若者自立支援 ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業	ドッグプログラムを行いたい・興味があるという方へのコンサルティングや見学受け入れ	(A) 別表に記載 (B)キドックスファーム (C) 2人	(D) 活動に興味がある全ての人 (E) 別表に記載	0
⑦若者自立支援 ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	ドッグプログラムの具体的な内容や成果・実績についての講演会の実施、新聞・ラジオ・テレビ等メディアからの取材の受け入れ	(A) 別表に記載 (B)キドックスファーム (C) 2人	(D) 活動に興味がある全ての人 (E) 別表に記載	6

(2) その他の事業  
実施せず

以上